

令和4年度 第2回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月27日（火）午後2時から午後3時30分
- 2 開催場所 浜松市立雄踏小学校 会議室
- 3 出席委員 中村 秋男、山田 敏、石川 恵一、中村 厚、山内勝己、
村松美智子、藤田 格、飯尾晋太郎、加茂 聡美（CSコーディネーター兼務）
- 4 欠席委員 和久田雅子（CSコーディネーター兼務）
- 5 学 校 高杉 晋司（校長）、高木 悦代（教頭）、松田 浩征（主幹教諭）、
木根 創（主幹）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課指導主事）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 議長選出
 - (2) 協議
 - ① 学校評価の中間結果について（主幹教諭）
 - ② 1学期の取組について（CSコーディネーター）
 - ③ 今後の取組予定について（CSコーディネーター）
 - (3) 浜松市教育委員会（教育総務課 指導主事）小川 誠司
 - (4) 連絡事項
- 8 会議録作成者 校務アシスタント 前岡 光子
- 9 会議記録

司会加茂から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長選出

司会より議長について委員に意見を求めたところ、中村秋男委員を推薦する発言があり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。

(2) 協議（議長：中村秋男会長）

① 学校評価の中間結果について

議長の指示により、主幹教諭から学校評価の中間結果について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・授業参観の様子から、児童1人1人がしっかり発言できていると感じた。（石川委員）
- ・昼休みが短縮され、子供たちの運動量が落ちているように感じる。コロナが落ち着いたら、以前のようにしっかり体を動かせる環境になることを期待している。（飯尾委員）
- ・キャリア教育について児童・教員・保護者みんな理解を深める必要がある。（飯尾委員）
- ・去年にくらべて朝の挨拶に元気がないと感じられる。今後も継続して気にかけていく必要がある。（山内委員）

- ・挨拶について、学校側から子供たちへ声かけすると変わってくるのではないかと。挨拶は大切な指導のひとつだと思ふ。(村松委員)
- ・コロナ禍社会、大人同士でも人と接するとき大きな声が出しにくい。また全体的な話し合いをする機会もない。今後子どもたちに明るさが戻ることを期待している。

(山田委員)

- ・コロナ禍の中、大きな声を出すことはまだ難しいが、目で笑いかけるなど大人ができることをするのが大切ではないか。(中村秋男委員)
- ・アンケート結果を見ると、子どもと教師の感じ方に差があるように思ふ。教員も伝え方に工夫が必要ではないか。(加茂委員)

学校評価の中間結果を踏まえ、今後も協議会の役割を果たしつつ、運営に寄与する旨の意向が議長より示され、全員異議なく承認した。

② 1学期の取組について

議長の指示によりコーディネーターから、1学期の取組について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・地域やボランティアの方が手厚い支援を行ってくれていることがありがたい。(加茂委員)
- ・地域のいろいろな方から支援を受けていることがわかる。(中村秋男委員)
- ・このような支援を必要としている子がいる。(中村厚委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

③ 今後の取組予定について

議長の指示によりコーディネーターより、今後の取組について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・支援ボランティアやキャリア教育の講師など、今後も学校と協力して人材を探していく必要がある。(加茂委員)
- ・感謝をなにかの形で示すことも必要かもしれない。(中村厚委員)
- ・学校運営に関するアンケートを実施したので、地域を含めて今後活かしてほしい。

(飯尾委員)

- ・教職員の働き方改革が話題になっているが、子どもたちの心身発達によい方向も重要視してほしい。(飯尾委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 浜松市教育委員会(教育総務課 指導主事)より

小川指導主事より委員の任期・再任について次のように説明があった。

- ・地域との連携・コミュニティ・スクール協議会が良い形で継続できることが望ましい。

委員が総入れ替わりにならないよう慎重に任期満了・再任を進めてほしい。

(4) 連絡事項

司会から、次回会議は令和4年11月22日(火)授業参観後、午後2時から、雄踏小会議室で開催する旨の報告があった。